

ふるさと井上靖文学館
住所：長泉町東野
クレマチスの丘515-57
最寄：JR三島駅北口より無料シャトルバス
電話：055-986-1771
定休：水曜(祝日の場合翌日)、年末年始
井上の自伝的三部作「しろばんば」「夏草冬溝」「北の海」を常設展示。企画展や各種講座も開催。

伊豆文学まつり
期間：1月26日(日)～3月8日(日)
会場：伊豆市内各所
(天城会館、湯ヶ島など)
問合：伊豆市観光商工課0558-72-9911
伊豆市内各地を会場に、期間中はスタンプラリーや文豪ゆかりの部屋や秘蔵品の特別公開、老舗旅館の主が案内する文学散歩など盛り沢山。

若山牧水記念館
住所：沼津市千本郷林1907-11
最寄：牧水記念館バス停下車すぐ
電話：055-962-0424
定休：月曜(祝日の場合翌日)、年末年始
若山牧水の生誕から永眠までの足跡とその輝かしい業績を、半切、原稿、書簡などゆかりの品々と共に、編年体で展示。

起雲閣
住所：熱海市昭和町4-2
最寄：起雲閣西口バス停
又は天神町バス停下車徒歩2分
電話：0557-86-3101
定休：水曜(祝日の場合は開館)、年末
当時「熱海の三大別荘」である名邸が基で、旅館として太宰治などの多くの文豪達も宿泊。多様な建築様式と装飾を融合させた洋館。

木下杢太郎記念館
住所：伊東市湯川2-11-5
最寄：JR伊東駅徒歩5分
電話：0557-36-7454
定休：月曜(祝日の場合翌日)、年末年始
伊東市出身の木下杢太郎の生家の母屋に、詩・劇曲などの初版本や学生時代のノートやスケッチを展示。

長倉書店修善寺店
住所：伊豆市柏久保552-4
最寄：修善寺駅から徒歩約1分
電話：0558-72-0713
定休：不定休
伊豆の郷土本なら日本一の品揃え。一般の書店では購入できない郷土本も出版。清水町にもサントムーン店あり。

最福寺
住所：伊豆市小下田1652
最寄：小下田バス停徒歩3分
電話：0558-99-0101
定休：不定休
資料館「夢の実現堂」には若山牧水・芹沢光治良の書物や三舟(海舟・泥舟・鉄舟)の書等を展示。境内のしだれ桜は新品種で春には圧巻。

伊豆近代文学博物館
住所：伊豆市湯ヶ島892-6
最寄：昭和の森会館バス停下車すぐ
電話：0558-85-1110
定休：第3水曜
伊豆ゆかりの文学者120名の資料を展示。井上靖の直筆の原稿や愛蔵品をはじめ、「伊豆の踊子」の直筆原稿や井上靖旧邸が庭園に移築。

芹沢光治良記念館
住所：沼津市我入道
まんだが原517-1
最寄：沼津リハビリテーション病院バス停すぐ
電話：055-932-0255
定休：月曜(祝日の場合翌日)、年末年始
沼津市出身の文豪として活躍した芹沢光治良の記念館。第一作「ブルジョア」から晩年作「天の調べ」まで、数多くの作品や色紙を収蔵。

石垣りん文学記念室
住所：南伊豆町加納791-1
(南伊豆町立図書館内)
最寄：前原橋バス停下車徒歩10分
電話：0558-62-7100
定休：月曜、木曜、祝日、年末年始
戦後女流詩人の草分け的存在の石垣りんの初版本「シジミ」「脊椎の水」の自筆原稿、愛用品など約650点を展示。

伊豆文学フェスティバル

入場無料

第23回伊豆文学賞表彰式・伊豆文学塾

開催日
2020年3月8日(日)
14:00～16:00

会場
プラサヴェルデ
(沼津市大手町1-1-4)



村松 友視

伊豆文学賞 審査員が集結



嵐山 光三郎

太田 裕子

諸田 玲子

中村 直美

各施設へのお出かけには、便利でおトクなフェリーと路線バスで！

清水から土肥へ 駿河湾フェリー
らくらくアクセス

毎日3～4往復(ドック期間1/14～31除く)
普通運賃：大人2,300円、小人1,150円

おススメのポイント

- ① 渋滞知らずで清水から土肥まで70分
- ② 洋上からの富士山ビューはオンリーワン
- ③ 特別室(OCEAN ROOM)は+ワンコイン(500円)

駿河湾フェリー予約センター
TEL. 054-353-2221 <https://www.223-ferry.or.jp>

乗れば乗るほどおトク、東海バス全路線が乗り放題！
東海バス全線フリーきっぷ

2日券：大人3,900円 小人1,950円
3日券：大人4,600円 小人2,300円

おススメのポイント

- ① 東海バス全路線が乗り放題※
- ② 有効期間内は、エリア内乗り降り自由
- ③ 指定施設で割引等特典つき
※定期観光バス、高速バス、一部路線除く

「伊豆半島路線バスの旅」掲載中 →

<http://www.tokaibus.jp>



主催：静岡県、静岡県教育委員会、伊豆文学フェスティバル実行委員会
共催：沼津市 後援：文化庁、読売新聞東京本社
協賛：スルガ銀行 協力：静岡県書店大賞実行委員会



伊豆文学賞とは... 「伊豆の踊り子」や「しろばんば」に続く新たな文学作品や人材の発掘と、文学に親しむ機会の提供を目的に、伊豆をはじめとする県内各地を題材とした文学作品を募集、審査、表彰をしています。

第23回 伊豆文学賞表彰式 14:00 ~ 14:40

各部門入賞者の表彰式と審査員講評を行います。

伊豆文学フェスティバル出演予定審査員

村松 友視



作家。1982年「時代屋の女房」で第87回直木賞、97年「鎌倉のおばさん」で第25回泉鏡花文学賞を受賞。第1回から伊豆文学賞審査員。

嵐山 光三郎



作家。1988年「素人庖丁記」で第4回講談社エッセイ賞、06年「悪党芭蕉」で第34回泉鏡花文学賞及び第58回読売文学賞を受賞。第10回から伊豆文学賞審査員。

太田 治子



作家。父は太宰治、母は「斜陽日記」の太田静子。1985年「心映えの記」で第1回坪田譲治文学賞を受賞。第10回から伊豆文学賞審査員。

諸田 玲子



作家。2003年「其の一日」で吉川英治文学新人賞、07年「奸婦にあらず」で新田次郎文学賞、12年「四十八人目の忠臣」で歴史時代作家クラブ賞を受賞。第22回から伊豆文学賞審査員。

中村 直美



(株)交通新聞社常務取締役第2出版事業部長。2010年まで月刊「旅の手帖」編集長。三重・長崎など全国で地域ツーリズム振興に携わる。第14回から伊豆文学賞審査員。



伊豆文学塾 14:50 ~ 16:00

14:50 ~ 16:00

①舞踊披露

執筆のために伊豆に逗留した文豪達と交流の歴史があり、古くからお座敷文化を牽引した伊豆長岡の芸妓衆が会場内で踊りを披露します。(解説:佐野日本大学短期大学学長、伊豆文学フェスティバル実行委員 佐藤三武朗氏)



②特別講演 村松 友視 氏

伊豆文学賞発足当時から審査員である直木賞作家村松友視氏が登壇。旧清水市で過ごされ、現在の作家に至るまでの軌跡をお話頂きます。



テーマ: 私が作家になった理由

1940年東京生まれ。幼少期から高校までを旧清水市で過ごす。出版社勤務を経て、文筆活動に入る。1982年『時代屋の女房』で第87回直木賞を受賞。1997年『鎌倉のおばさん』で第25回泉鏡花文学賞を受賞。『百合子さんは何色』、『アブサン物語』、『幸田文のマッチ箱』、『淳之介流』、『俵屋の不思議』、『帝国ホテルの不思議』などの作品を精力的に発表している。新刊に『老人流』(2019年11月、河出書房新社)、『猪木流「過激なプロレス」の生命力』(2018年10月、河出書房新社)など。第1回から伊豆文学賞審査員。

同日開催!! 伊豆文学バスツアー

Aコース 7:00~13:30
Bコース 8:45~13:30

当日午前伊豆の文学関連施設を巡る2コースを催行。ツアーには精通した案内人が同乗し、コース内の見どころはもちろん、エピソード等も楽しく解説。文学作品に興味をお持ちの方はもちろん、初春の伊豆を楽しみたい方にも満足いただける内容です。

■出発日 令和2年3月8日(日) ■旅行代金 Aコース:3,000円 (JR清水駅東口発 沼津(プラサヴェルデ)着) Bコース:2,000円 (JR沼津駅北口発 沼津(プラサヴェルデ)着)
■募集人員:各コース40名様(最少催行人員1名) ■お申込み:お電話でお申込み下さい。満員となり次第、締め切りとさせていただきます。 ■お支払:お近くのコンビニや郵便局から払い込み下さい。(手数料不要)

Aコース 駿河湾フェリー 金峰山最福寺(夢の実現堂)とお座敷遊び体験(伊豆長岡見番)

作家 佐藤三武朗氏と行く

旅のポイント
①駿河湾フェリー-Ocean Room(特別室)で佐藤三武朗氏の文学ミニ講演!!
②金峰山最福寺は特別に「住職がご案内!!」
③貴重な伊豆長岡見番で「お座敷遊び体験!!」

スケジュール
JR清水駅東口(7:00集合/7:15出発) → 清水港(7:55出発) → 駿河湾フェリー(70分の船旅) → 土肥港(9:05着) → 金峰山最福寺(参拝・夢の実現堂ほか見学) → 伊豆長岡見番(お座敷遊び体験・昼食弁当) → 沼津(プラサヴェルデ) (13:30頃) 食事 ☒

Bコース 沼津市内文学めぐり

文学施設 職員がご案内

旅のポイント
①若山牧水記念館、芥川龍之介記念館は館内スタッフがご案内!!
②沼津御用邸記念公園では「園園を眺めながら昼食!!」

スケジュール
JR沼津駅北口ロータリー(8:45集合/9:00出発) → 若山牧水記念館(見学) → 芥川龍之介記念館(見学) → 沼津御用邸記念公園(見学・昼食弁当) → 沼津(プラサヴェルデ) (13:30頃) 食事 ☒

バスツアーに関するお問い合わせお申し込み
【旅行企画・実施】静岡県知事登録旅行業 第2-194号 全国旅行業協会会員
TB東海バストラベル伊東旅行センター
(東海自動車株式会社) ☎0557-36-0415 (営業時間) 平日 9:30~18:00 / 土 9:30~17:00
URL <http://www.tokaibus.jp> 〒414-0022 伊東市東松原町16-2 東海東松原ビル 総合旅行業務取扱管理者 鈴木一功

※詳しくは専用チラシをご覧ください。

伊豆文学賞優秀作品集 発売中

これまでの第22回までの伊豆文学賞入賞作品をまとめた優秀作品集を発売中です。これから作品を作る方は必見!

第13回優秀作品集 土橋章宏「海煙」、第19回優秀作品集 今村翔吾「蹴れ、彦五郎」収録

- 第2~4、8~11、14回優秀作品集
...静岡新聞社(電話 054-284-1666)
- 第5~7、12~13、15~22回優秀作品集
...羽衣出版(電話 054-238-2061)



次回予告

令和2年度(第24回)伊豆文学賞開催予定
4月下旬に伊豆文学フェスティバルホームページ上で募集要項を公開します!
<http://www.izufes.net/IzuFes/>

フェスティバル申込方法

1 申込方法 ①氏名(ふりがな)、②郵便番号、③住所、④電話番号を記入の上、「3月8日伊豆文学フェスティバル参加希望」と明記した、はがき、ファクシミリ、Eメールのいずれかで、下記申込先へお送り下さい。

2 締切 令和2年2月28日(金)

3 申込先 静岡県文化政策課内「伊豆文学」係
〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6
FAX: 054-221-2827
E-mail: info@izufes.net

4 問合せ先 伊豆文学フェスティバル 実行委員会事務局
電話 054-221-3109(静岡県文化政策課)



JR東海道線沼津駅北口より徒歩約3分
沼津市大手町1-1-4 駐車場: 有料